

平成23年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 723

政策体系	25	事業分類	ソフト事業	所管部局	教育委員会 社会教育課
会計	一般会計	科目	10. 教育費 - 5. 社会教 - 4. 資料館 現年		
事業名	展示会事業				
細事業名	展示会事業				
評価表作成者				教育委員会 社会教育課	井尻 智道

1. 事業の概要

南丹市内の歴史・芸術・民俗・産業・自然科学等に関する資料を収集し、保管し、展示する。

2. 事業の目的と必要性

① 施策で目指す目標との関連付け

南丹市内に残る伝統や文化を後世に残すために、市内の歴史文化にまつわるテーマを設定、展示会を開催する。展示会を観覧し、理解することによって地域の歴史を郷土への愛着を深めることができる。また、展示会を通して、地域の人々と協同して文化を育てるとともに、地域の活性化をもたらす役割を果たすことを目的とする。

② 事業を実施する必要性

経済力が、文化・芸術を支える時代から、文化・芸術が経済社会のあり方を変える時代に移ろうとしている。これからの博物館は、まさにこの点にその存在意義が求められている。博物館利用者の学習意欲をかきたてるような展示会を定期的を実施し、収蔵資料についても充実させる。

3. 事業費の推移

	単位	平19決算	平20決算	平21決算	平22決算	平23予算	平24計画	平25計画
決算額または計画額	千円	7,443	7,307	3,719	3,026	2,994	3,536	3,536
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	567	350	350
	国・府支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	7,443	7,307	3,719	2,459	2,644	3,186
職員等の従事人員	人/年	—	1.32	3.22	3.22			
人件費	千円	—	5,419	9,094	9,577			
事業費総額	千円	—	12,726	12,813	12,603			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

展示資料輸送他	729,750円（委託料）
展示会印刷費	1,284,324円（印刷製本費）
展示会用備品購入	320,250円（備品購入費）

5. 事業結果の概要

文化博物館【日吉町郷土資料館との共催展】
・夏季特別展「鉄道～果てしなく続く路～」
関連事業：鉄道模型運転会8/7.8 145名参加
・工芸品展示会（南丹ものづくりの祭典、南丹文化ジョイントプログラム）10/30.31
日吉町郷土資料館【文化博物館との共催展】
・夏季特別展「鉄道～果てしなく続く路～」
関連事業：ミニSL運転会8/1 233名参加

6. 活動の詳細

7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

来館者増だけを考えるのではなく、南丹市に関連するテーマで事業展開できるようストーリー性を持たせることが必要。
南丹市内に残る歴史と文化をテーマとして、事業を展開できるのはこの事業の特異性である。これを活かして、市民の郷土への意識を高めていくことができる。
展示会のテーマ等について市民の意見を取り入れる工夫をしたい。

【参考】過年度の評価

■平成22年度の所属長評価

来館者増だけを考えるのではなく、南丹市に関連するテーマで事業展開できるようストーリー性を持たせることが必要。
南丹市内に残る歴史と文化をテーマとして、事業を展開できるのはこの事業の特異性である。これを活かして、市民の郷土への意識を高めていくことができる。
展示会のテーマ等について市民の意見を取り入れる工夫をしたい。

■平成21年度の所属長評価

①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点
来館者増だけを考えるのではなく、南丹市に関連するテーマで事業展開できるようストーリー性を持たせた。
②当該事業のアピール事項
南丹市内に残る歴史と文化をテーマとして、事業を展開できるのはこの事業の特異性である。これを活かして、市民の郷土への意識を高めていくことができる。
③反省点、今後の展開・方向性等
展示会のテーマ等について市民の意見を取り入れる工夫をしたい。